

奈良女子大学
古代学学術研究センター

平成 25 年度

第 3 回月例研究会

日時：2013 年 7 月 3 日（水）16：30～

場所：生活環境学部会議室（生環 A 棟 1 階）

内容：梁職貢図について

河上 麻由子（人文科学系 助教）

「梁職貢図」とは、武帝の即位四十年を記念して、武帝の第七子である蕭繹が荊州刺史在任中に作成させたものである。関連する研究は枚挙に暇ないが、中でも近年、深津行徳氏によって、台湾故宮博物院所蔵の「南唐顧徳謙模梁元帝蕃客入朝図」と「唐閻立本王会図」が梁職貢図の模写本であると明らかにされたことは、研究史上の画期と言うべきである。

そもそも梁職貢図の研究は、北宋代に書写された「梁職貢図」の使者図に付された題記の分析を中心に進められてきたのであり、使者図が部分的（倭国使図など）に取り上げられることはあっても、大抵は北宋代の写本が考察対象とされるのみで、故宮博物院所蔵本の使者図が比較検討されたことは殆どない。そこで本報告では、北宋代の写本に加えて両写本を分析の対象とすることで、職貢図全体の意図を追究する手掛かりとする。

ご自由にご参加下さい